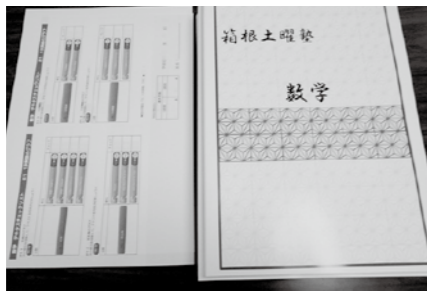


～「箱根土曜塾」の様子をご紹介します～

8月21日に開講式を迎えた箱根土曜塾ですが、普通の授業はどのように行われているか、生徒の様子および授業風景を少しご紹介します。



5～6人のグループに対して1人の講師がつき、丁寧に授業を行っています。



教材やホワイトボードを活用しながら授業に集中できるよう工夫しています。



箱根土曜塾についての詳細は、学校教育課まで！(☎85-7600)

箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』

学校図書教育推進編

町では、園・小・中一貫教育を推進するため、各園・学校の代表の教職員と教育委員会を代表する職員で構成する「一貫教育推進運営委員会」をはじめ、各種部会を組織し、研究しながら一貫教育を推進しています。

今回は、各種部会のうち、「学校図書教育推進委員会」の取り組みを紹介します。

各小・中学校には図書室があり、町では、毎年度定期的に本を購入し、学校図書の充実を図っていますが、購入する本の選び方や本に触れる機会などを工夫しています。

例えば、各学校で「選書会」を開催し、様々なジャンルの本を各学校に一定期間展示します。そして、子ども達や教職員が実際に本を手にとって選んだ、子ども達が読んでみたい本や、教職員が子ども達に読んでもらいたい本を購入するようにしています。

さらには、選書会を通じて各学校に購入した本については、「ブックシェア」と称して、順番に3小学校に貸し出し、子ども達により多くの図書に触れる機会を設けています。

こうした取組を通じて、子ども達が本に親しみをもち、読書の楽しさを味わってもらい、読書の習慣が身に付くことを期待しています。

かながわ教育月間
10月1日～11月3日



箱根ジオパークの
拠点施設の方や学芸員に
いちおしのジオサイトを
紹介してもらおうよ！



私の「イチオシ」

こんにちは。「箱根町立郷土資料館」館長の鈴木です。今回は数あるジオサイトの中で、「元箱根石仏群」を紹介しましょう。

「元箱根石仏群」は、芦之湯温泉に近い精進池周辺にある多くの石仏や石塔のことを言います。ここはちょうど駒ヶ岳と上二子山間の尾根の一番低い場所に位置し、両側の溶岩を彫りぬいた「六道地蔵」や「二十五菩薩」と呼ばれる磨崖仏や、溶岩を切り出して造られた「曾我兄弟・虎御前の墓」と呼ばれる五輪塔や「多田満仲の墓」と呼ばれる宝篋印塔などの石塔があって、銘文などからいずれも約700年前、鎌倉時代の後期に造られたものであることがわかります。

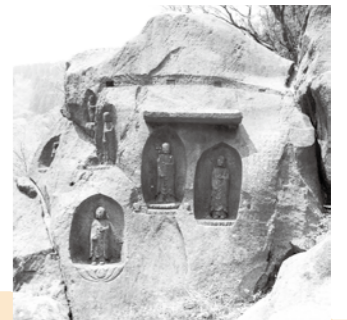
これらの石仏や石塔をよく見てみましょう。「六道地蔵」や「二十五菩薩」といった磨崖仏のほとんどはお地蔵さんです。また五輪塔の一つにもお地蔵さんを信仰する人たちがつくる「地蔵講」によって建てられたことが記されていて、どうやらこの辺りは当時、地蔵信仰の霊地だったことがうかがえます。

なぜ、ここに地蔵信仰の霊地となったのでしょうか？これらが造られた鎌倉時代後期、ここは箱根越えの湯坂道が通り、多くの旅人が行き交いました。その一人、都の貴族「飛鳥井雅有」は、ちょうど箱根を越えた時に、この辺りは行倒れる人も多く、「地獄」と呼ばれていると記しています。箱根越えの厳しさ、時折噴煙を噴き上げる精進池周辺の荒涼とした風景から、まさにこの地は地獄と恐れられていたのです。それゆえ地獄へ行く人々を救う仏として地蔵信仰がこの地に広がったと考えられています。

今、日本有数の観光地として多くの観光客が訪れる箱根の姿からは想像もできないかもしれませんが、実は今日に至るまでの長い歴史の中で、箱根が「地獄」と恐れられていた時代が確かにあったことを、この石仏や石塔は私たちに語りかけてくれます。



六道地蔵



二十五菩薩

照会先 教育委員会生涯学習課 箱根町立郷土資料館 ☎85-7601

ホームページ <https://www.town.hakone.kanagawa.jp/index.../6,420,14,99.html>

教育委員会一般講座
「戦国・江戸時代を支えた石」開催します！

箱根ジオパークには石を山などから切り出した場所である「石丁場」が多く残されており、ジオサイト「早川石丁場群」(小田原市)や「真鶴半島採石場跡」(真鶴町)では江戸城の築城の際には、たくさんの石材が採掘されました。日本有数の石材の産地であり、戦国・江戸時代を支えた箱根火山から噴出した「石」について一緒に学びましょう。

日時 10月19日(土)14時～16時(受付13時30分)

場所 県立生命の星・地球博物館 講義室(小田原市入生田499)

講演 ◆「石材として使われた箱根火山の石とは」
県立生命の星・地球博物館 山下浩之専門学芸員
◆「小田原の石切(石工)と石丁場」
小田原城天守閣 佐々木健策学芸員

定員 100名(先着順)

照会先 箱根ジオパーク推進協議会教育委員会事務局(南足柄市企画課)
☎046517318001

県立生命の星・地球博物館
「運携企画展「箱根を越える」箱根火山と東西交流の歴史」開催します！

箱根ジオパーク拠点施設である小田原市郷土文化館、箱根町立郷土資料館、箱根関所、県立生命の星・地球博物館では「箱根を越える」をテーマに連携した展示を行います。そのうち、県立生命の星・地球博物館では、急こう配な線路を走行する箱根登山鉄道を中心に箱根火山の険しい地形の形成史、その地形を造り出した岩石などを紹介します。

期間 10月27日(日)まで

開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)

観覧料 無料
(常設展観覧料は別途)

休館日 月曜日
※臨時休館日あり。

照会先 県立生命の星・地球博物館
☎04651211515

